



第 37 回東京都トランポリン競技会 実施要項

主 催 東京都体操協会

期 日 2023 年 6 月 17 日（土）～18 日（日）

17 日（土）

午前 会場設営、準備

午後 Ds・Dj・E クラス：決勝・表彰（予定）

18 日（日）

A・B・C クラス：予選・決勝、表彰、片付け（予定）

※スケジュールは変更になる場合があります。予めご了承ください。

会 場 日本体育大学 世田谷キャンパス メインアリーナ
〒158-8508 世田谷区深沢 7-1-1 日本体育大学内
TEL：03-5706-0900（代表）

競技規則 （公財）日本体操協会制定「2022-2024 年トランポリン採点規則」に則る。
一部、東京都体操協会トランポリン委員会制定のルールに準ずる

競技方法 **全クラス共通**

- (1) 4 人の E 審判員による得点^{*1}の中間 2 人の合計 + D 得点^{*2} + T 得点^{*3} + H 得点^{*4} - Penalty の合計で得点を算出する
- (2) 得点が同点の場合は、
 - T 得点が高い選手
 - H 得点が高い選手
 - D 得点が高い選手
 - 4 人の E 審判員のうち、中間 2 人の合計が高い選手
 - 1 回目、2 回目の演技得点の合計点
で順位を決める

A・B・C クラス

- (1) 予選において 2 回の演技を行い、得点の高い方を有効得点とし、得点の高い順に予選順位を決定する
- (2) 予選得点の上位 8 名が決勝に進出する
- (3) 決勝は、1 回の自由演技を実施し、得点の高い選手が上位となり、順位を決定する
- (4) 決勝トーナメントは行わない

Ds・Dj・E クラス

- (1) 2回の演技を行い、得点の高い方を有効得点とし、得点の高い順に順位を決定する
- (2) 決勝は行わない

- *1 E 得点：演技得点
- *2 D 得点：難度点
- *3 T 得点：跳躍時間点
- *4 H 得点：水平移動点

競技種目と各制限

男女共個人戦 第2自由演技のみ（10種目）

	10種目の合計難度制限	1種目あたりの難度制限	年齢制限
Aクラス	無制限	無制限	無制限
Bクラス	難度点 6.9 以下	1.2 以下	無制限
Cクラス	難度点 4.9 以下	0.8 以下	無制限
Dsクラス	難度点 1.9 以下	0.6 以下	高校生以上
Djクラス	難度点 1.9 以下	0.6 以下	中学生以下
Eクラス	難度点 0.9 以下	宙返り禁止	小学校3年生以下

- ※ 全クラスともに、1種目の上限難度を越えた種目を実施した場合は、**失格**（=0点）とする。
- ※ Bクラスでは、1/2 out(P)は1種目あたりの難度制限の対象外とする。（ただし、これを実施した場合は難度点を1.2点とする）
- ※ Eクラス：頭が重心より下になる種目が入らないこと。

使用器具

FIG 認定器具 ユーロトランポリン（4mm x 4mm テープベッド）
跳躍時間点測定装置（ベリーフライト）

表彰

1位～3位：メダル・賞状
4位～6位：賞状
優勝者：メトロポリタンカップ（Aクラス男女）

参加資格

- ・ A～Cクラスについては、2023年度（公財）日本体操協会に選手登録が完了していることが必要です。
- ・ Ds・Dj・Eクラスおよび園児については選手登録の必要はありません。

全てのクラスにおいて、都内に在住・在勤・在校・在園または東京都体操協会に加盟している各所クラブで練習している者に限ります。

参加料 5,000 円/選手

申込方法

- 所定の Excel ファイルに必要な事項を入力の上、メールにてお申込みください。
- 郵送での申し込みは受け付けません。
- 期限以降の申し込みについては一切受け付けませんのでご注意ください。

受付期間：2023 年 5 月 1 日（月）～5 月 20 日（金）

- メール送信の際、以下に内容に従って送信ください。

件名: 第 37 回東京都トランポリン競技会 【団体名】
宛先: ホームページのお申し込みフォームに Entry Sheet を添付のうえ、お申込みください
添付: 申込用紙 (Excel ファイル)

- Excel ファイルのまま送信ください。PDF や画像データなど、別のフォーマットに変換したファイルは受け付けません。各シートも変更や削除などしないようにしてください。

振込期限

振込期間: 2023 年 5 月 1 日(月) ～ 5 月 20 日 (金)

- ※ 期日までに振込がない場合は、参加申込書が無効になります
- ※ 申込後～振込期日までにキャンセルが発生した場合でも、申込をした人数分の振込を行ってください
- ※ 5 月 1 日以前には振込を行わないでください
- ※ 最終日は取扱日ではなく、口座入金の日付が 5 月 20 日（金）までです

期限以降の変更による大会参加費の返金はいたしません。新型コロナウイルス感染症等の影響により、主催者側で大会の中止を決定した場合は、返金致します。その場合、振込手数料を引いた金額にて返金となりますので、予めご了承ください。

振込先

みずほ銀行 港北ニュータウン支店 普通 8023990
東京都トランポリン協会 代表 山崎博和

※ 振込者名は、個人名ではなく申込用紙の所属団体名と一致したお名前をご使用ください。（振込金の照合ができない場合は無効になりますので十分ご注意ください。）

帯同審判

- 本大会出場選手の所属団体は、以下の内容に従って（公財）日本体操協会公認審判員 2 種以上（国際審判員を含む）の帯同のご協力をお願いいたします
1～10 名の参加選手がいる団体：1 名
11 名以上の参加選手がいる団体：2 名
- 帯同審判員は、大会期間の 2 日間（終日）従事できる方に限ります
- 帯同できない場合、運営本部において審判員を依頼しますので、選手 1 名につき 1,000 円の負担をお願いいたします。

- 11名以上の団体で1名のみ帯同できる場合、10名分の帯同審判料を免除いたします。
例：選手15名 帯同審判1名の場合→15-10=5名×1,000円=5,000円
- 11名以上で2名の審判を帯同する場合の帯同審判料は必要ありません。
- 帯同審判は、2022年～2023年、(公財)日本体操協会主催・共催大会での審判実績の保有者もしくは公認審判員講習会・研修会(国際体操連盟主催のものを含む)を受講した方のみとさせていただきます。
- 他の参加団体が帯同している審判員を帯同することはできません。依頼の際は、必ず確認をしてください。

AD 申請

- ADカードは一人1枚のみ発行です。**重複して申請しないでください**
- 他団体と重複して申請された場合でも、いずれか1枚の発行となります
- 選手を除いて、各所属団体で最高3枚まで、各役職に1枚までADカードを発行いたします。
- **会場に来ない方のADは申請しないでください。**
- 当日の発行や変更はいたしませんので、予めご注意ください

種別	枚数	備考
選手	選手数	出場選手数を発行します。
監督・コーチ	1	コーチ資格の有無は問いません。 各所属団体に1名分発行します。
スポッター	2	スポッターとして、最高2名分発行します。
トレーナー	1	競技中は、競技に影響しない場所で待機し、治療などを要する場合は、競技エリア内に入場できます。

スポッター制度

A・B・Cクラスはダブルスポッター制を義務化、Ds・Dj・Eクラスはダブルスポッター制を推奨、シングルスポッターを義務とします。A・B・Cクラスは必ず、所属団体に2名のスポッターを配置してください。また、スポッターは、中学生以上で安全にマットを入れることができる方を準備してください。スポッターを用意できない所属団体については、予め他の所属団体の監督・コーチもしくは適切な方へ依頼してください。それでも、スポッターが用意できない場合は、受付時に「ダブルスポッター要員要請申請書」に必要事項をご記入のうえ、提出してください。

撮影許可証

ビデオ撮影につきましては、各団体に最高2枚の撮影許可証を発行いたします。ただし、1名が2台以上の機器を同時に操作しての撮影は禁止致します(撮影許可証1枚につき、1台とします)

競技日程 申し込み終了後、東京都体操協会トランポリン委員会の HP にてお知らせいたします。郵送でのご連絡は致しませんので、ご注意ください。

東京都体操協会トランポリン委員会公式ホームページ

<https://tokyo-trampoline.com/>



競技カード 競技カードは、必要事項をご記入のうえ、下記へ申請期日までに郵送してください。

〒 158 - 8508

東京都世田谷区深沢 7-1-1 日本体育大学内

トランポリン研究室気付 東京都体操協会トランポリン委員会 宛

申請期間：2023年5月25日（木）～6月4日（日）

※ 期限以降の申請は一切受け付けません。

期限までに申請がない場合は、参加申込が無効となります。

大会保険および大会当日の怪我について

協会の費用負担にて、参加選手に対して大会当日の練習開始～競技終了までスポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。大会参加者は健康保険証を持参してください。

高校生以下の選手が参加する団体の責任者は、必ず保護者の承諾を得ておいてください。また、事故防止の点からも無理のない演技を組むようコーチ、監督の方は心がけて下さい。

個人情報の取り扱いについて

参加申込書及び同意書に記載された個人情報および写真については、下記の「第37回東京都トランポリン競技会」に関する全般業務に使用します。申し込みが完了した時点で本人の同意が得られたこととします。

- ① 参加人数および参加資格の確認（選手登録の有無、年齢、性別、所属、保護者の同意等）
- ② スタートオーダーの作成
- ③ 賞状筆耕
- ④ 記録業務
- ⑤ 資料、広告等の作成

その他

(1) 本大会は、東京都体操協会「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」および「体操イベント実施に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づいて運営されます。参加する選手団（選手・コーチ・トレーナー）につきましても必ず内容を確認し、新型コロナウイルス感染拡大予防に積極的にご協力ください。（2023年5月1日現在）

(2) 万一、体調不良や発熱が認められる場合は来館を控え、速やかにトランポリン委員会へご連絡ください。

(3) 本大会は「無観客試合」（2023年5月1日現在）とします。変更につきましては、随時委員会ホームページにてお知らせ致します

(4) AD カードが発行されていない方の入場はできません（撮影許可証は AD カードではありません）

- (5) 服装は原則的には自由ですが、試合に適したものにしてください
 - (6) 使用する器具は2台からの選択制となります
 - (7) 締め切り後の電話による追加、クラスの変更、棄権による出場費の返金等一切受け付けません。また、申し込み遅れによるオープン参加も認めませんので、よくご確認のうえお申込みください。申し込み用紙の控えを必ず録っておいてください
 - (8) 万が一の事態に備え、予め返金先の口座情報をお伺いいたします
申込書の**返金用振込口座情報**にご記載をお願いいたします
 - (9) 参加申込後、何らかの理由により、大会が中止となった場合は、参加費を返金致します。その場合の振込手数料は、各所属団体負担とさせていただきますので、予めご理解・ご了承くださいませよう、お願いいたします
- ※ 駐車場は利用できませんので、自家用車でご来場の方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

お問い合わせ メールでのお問い合わせのみ受け付けます。以下メールアドレスへお問い合わせください。後日、返信にてご連絡いたしますので、必ずチーム名または団体名、およびお名前のご記載をお願いいたします。

問い合わせ先：kyougi@tokyo-trampoline.com

- 返信には数日お時間をいただくこともございます。予めご了承ください。

上記のメールアドレスからメールを受け取れるよう設定してください。

大会開催における コロナウイルス感染防止対策について

第37回東京都トランポリン競技会の開催にあたり、感染拡大防止対策を最大限講じ、関係するすべての方々の安心安全を実現できる大会の実施に努める。

1. 大会開催ポリシー

公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本体操協会のガイドラインに基づき、東京都の方針に従うことを前提とする。開催地や施設が定めた利用者ガイドラインに遵守しながら、開催される大会の実施形態を考慮し、参加者（参加者とは、選手、指導者、チームスタッフ、大会運営スタッフ、審判員など大会にいないければ成立しない大会に直接関わるものを指す。観客、家族、施設管理者は除く。以下「参加者」という）への感染防止、感染予防を適切に行っていく。

本大会は、無観客試合とし、選手・指導者・チームスタッフのみの入館とし、家族の入館は認めない（2023年5月1日現在）。

(1) 施設との連携・開催可否の判断

施設のガイドラインや指示に従い、大会の日程、参加者数などを縮小し、参加者の安全を第一に運営計画を立案する。大会前日であっても、政府や自治体、開催地、施設が開催中止の判断をした場合は、それに従う。

(2) その他必要に応じ主催者が判断すること

日々変わる感染状況や開催される自治体が政府から特別警戒指定を受けた場合などは、その指示に従う。

2. 大会開催における留意事項

- ① 参加者は、体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛、味覚・嗅覚に異常がみられる場合）、同居家族や身近な知人・友人に感染が疑われる方がいる場合、陽性者の濃厚接触者に該当する場合、またはその可能性がある場合は、自主的に参加を見合わせる。
- ② 参加者は、日常生活から健康管理と感染防止対策の啓発に努め、参加する。
- ③ 大会期間中の会場でのマスクの着用を推奨とする。選手は、練習時および演技中以外はマスクを着用、それ以外の参加者は常時マスクを着用することに努める。
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ⑤ 参加者は、場面に限らず、密にならないように十分な距離を確保する。
- ⑥ 大声での声援、応援をする場合は、必ずマスクを着用する。
- ⑦ 競技等に支障のない範囲で、出入口や窓を開放するなど、場内の換気に努め、施設の空調設備を適切に利用し、感染防止のための環境を整える。
- ⑧ 時間や競技方法を調整し、感染防止に努める。
- ⑨ 競技エリアへの入場者は、選手1名とスポッター（最大2名）とする。
- ⑩ 持ち込み備品は最小限に留める。また、持ち込み備品、用具の使用に関しては、参加者自身の管理の下、消毒等を行う。参加者自身が常に持ち歩き、他の者との共有を避ける。
- ⑪ 炭酸マグネシウムは、個人が持ち歩き、放置したり、他の参加者が使用したりすることを避ける。

- ⑫ 更衣室やトイレを使用する際は密にならないように心がける。
- ⑬ 審判員はジャッジに支障のない範囲で密を避けるよう心掛ける。得点確認や調整のための会話が必要な場合でも、感染リスクを避けるよう努める。
- ⑭ 場内での飲食は原則禁止とする。水分補給および選手の競技に支障をきたす場合の捕食については、その限りではない。運営スタッフへの食事の提供の際は、衛生管理に留意し、食事中の会話はできる限り避ける。
- ⑮ 施設に設置されているゴミ箱は使用せず、選手、指導者、チームスタッフのゴミは、各自持ち帰る。運営を行う中で出たゴミは、主催者側で処分する。
- ⑯ 終了後、所属団体の参加者から1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、直ちに主催者側に報告する。
- ⑰ 主催者は、新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は、速やかに利用施設に報告する。